



草 笛

教育目標

～生氣広野に充ちる北の大地に立ち～

1. 考えを深め表現・創造する人間
2. 心豊かに思いやりを実践する人間
3. 自らをきたえたくましく生きる人間

帯広市立帯広第七中学校 学校だより
 No.4 令和3年5月14日発行
 発行責任者：校長 堂山貴也

感染対策への協力 ありがとうございます

5月の大型連休後、北海道の新型コロナウイルスの感染状況が思わしくありません。十勝の状況でもここ数日の感染者が増えてきています。学校においては、今まで以上に注意喚起するとともに手洗いの徹底や三密の回避などしていますが、感染者がいつ出てもおかしくない状況などを前提にした対応で危機管理を今後とも続けて参ります。ご家庭におきましても毎日の検温の徹底、記録表の提出などご不便をおかけしておりますがご協力に感謝しております。

今月は、体育祭も予定されていますが先日ご案内を配布しています。しかしながら感染状況によっては対応を再検討する場合がございます。その場合はあらためてご案内をいたしますのでどうぞよろしくお願い致します。

また、これまでもお知らせしておりますが、咳や熱があった場合、風邪症状の疑いのある場合は登校を見合わせていただきますようお願い致します。

安全メール 必ず登録を！！

先般、お知らせしておりますが、学校安全メールの登録はお済みでしょうか。数件確認が取れないところがございます。至急登録をお願い致します。今後、学級連絡網ではなく安全メールによる学校からの連絡を推進していきますので、どうぞよろしくお願い致します。

七中生の努力と活躍

○第30回オホーツクジュニア水泳競技大会

- | | | |
|-------------|--|-------|
| ■ (1年) | | |
| ・自由形50M | | 29秒71 |
| ・個人メドレー200M | | 第2位 |
| ・背泳ぎ100M | | 第3位 |

PTA環境整備

5月8日(土)朝8時から約2時間ほど、PTAの皆様と環境整備を実施致しました。昨年は平日にアスファルト補修のみの整備でしたが、今年は「ホッケーフェンス塗装」「アスファルト補修」「花壇づくり」「排水溝の清掃」等を行いました。若干途中で雨がぱらつく状況でしたが、皆様ありがとうございました。大切にに使わせていただきます。また当日は、重機等の手配もしていただき感謝申し上げます。



七中 CS通信



帯広第七中校区 コミュニティ・スクール
 令和3年度の第一回目の協議会を5月13日（木）に実施致しました。令和元年度の10月に発足致しました本会は3年目を迎えましたが、昨年度は新型コロナウイルスへの感染防止のため、紙面開催等でほとんどの活動が制限されましたが、今年度は少しでも地域の方々とコミュニティを進めていきたいと思っております。今年度一年間どうぞよろしくお願い致します。

七中校区は七中を事務局として愛国小学校と大正小学校の3校のコミュニティ・スクールです。学校と地域・保護者が一体となり子どもたちを育てていきたいと思っております。

令和3年度 校区CS委員のご紹介

会 長	中谷 宗博 様 (七中)
副会長	岸塚 隆弘 様 (七中)
副会長	土田 直哉 様 (愛国)
副会長	道端 真人 様 (大正)
委 員	藪田 秀行 様 (愛国) 小澤由美子 様 (愛国) 山口 浩之 様 (愛国) 佐竹 隆雄 様 (大正) 佐藤 容子 様 (大正) 武田 順二 様 (大正) 松浦 正俊 様 (七中) 山田 静香 様 (七中)
事務局長	阪本幸子郎教頭
事務局	渡邊 毅広教頭 山野 圭教頭
校長	浪内洋一校長 高山亮司校長 堂山貴也校長

<第1回協議会の概要>

- 自己紹介 各委員より自己紹介を賜りました。
- 会長 副会長の選出 事務局校の七中より中谷様を会長に、各校のPTA会長様を副会長に事務局案として提案し、承認されました
- 各校の学校経営方針の確認
- 目指す子ども像の確認 「ふるさとの功しを引継ぎ 自らの未来を切り拓く子ども」
- アクションプランの作成について
 - ・CS全体の目標から各学校の教育目標までは整備されていますが、各校の教育目標に対する目指す子ども像や学校・家庭・地域の取組が現在整備されていません。今後、学校家庭地域の皆様にアンケートを実施し、アクションプランの作成に取りかかります。
- 前年度のCS協議会意見書に対する委員会の回答の説明
 - ・昨年末に教育委員会へ意見書を提出致しました。
 1. 中学校部活動における全国・全道大会への補助金の増額について
 (回答) 本補助事業については必要と認識。増額は他市町村の補助基準も三校にし、調査研究していきます。
 2. 小規模中学校における免許外担任の解消
 (回答) 人材を確保することが難しい状況。引き津好き道教委や学校と連携し、人材確保に努めて参ります。

